

2025年度 ニチキッズところざわ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月15日（木）～2月16日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月17日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念・目標を念頭に置き、一人ひとりの個性を理解してありのままを受け止め、子ども主体で尊重しながらより良い保育を気づくことが出来た。給食方針・給食目標については目につくところへ掲示し認識を深めていく。
子どもの発達援助	一人ひとりの発達に向き合い、寄り添いながら発達に即した関りを行ってきた。ありのままの姿を大切にし、個性を尊重する関りを心掛けた。
保護者に対する支援	送迎時のコミュニケーションを大切にし、子どもを真ん中にご家庭と園とがタッグを組み共育てをする存在として寄り添っていけるように心掛けた。今後も子どもたちの成長とともに喜びあえるつながりを構築していきたい。
保育を支える組織的基盤	自己研鑽の時間の充実、事務作業の時間の確保など保育士の安全安心への取り組みが必要。働く環境を整備し、十分なパフォーマンスができるよう改善していきたい。

総評
子どもを真ん中に据え、成長していく姿を保護者様とともに喜びあい、悩み、試してみたりと子育てを一緒にしていく存在として傍で寄り添いながら過ごすことができた。保育参加や夏祭り、保護者会等において保育園での生活を感じて頂く機会を持つことで、安心感と理解が得られるように心がけたことで関係性を築いていくことができた。次年度も引き続き行っていきたい。また、保育士の研修時間や園内研修、職員会議など年間計画に沿い適宜必要に応じて実施をし、保育力の向上と充実に努めていきたい。